

令和4年度 静岡県立大学看護学研究科 助産学課程 公開講義

母子の健康を支えるために必要な助産の力
～助産師の専門性を発揮し、
より活躍するためにSDGsの視点から考える～

講師：公益社団法人 日本看護協会

会長 福井トシ子氏

日時：2022年12月10日(土)10時～12時

方法：対面、及びオンライン(Zoom) (参加費無料)

場所：静岡県立大学小鹿キャンパス 251教室

対象：助産学生、看護学生、

助産師、看護師、保健師、興味のある方



- SDGs目標3: 全ての人に健康と福祉を
母子の健康を支える助産モデル
～助産師は生まれる前、妊娠期から生涯を通じて予防的な関わりを続ける～
- SDGs目標5: ジェンダー平等を実現しよう
助産師の可能性の拡大、より自立した専門職へ
- SDGs目標8: 働き甲斐も経済成長も
看護職のディーセントワーク、働き甲斐のある人間らしい仕事の推進
- 母子や家族の健康を維持促進するために、なぜ助産師が健康政策について考える必要があるのか
- より良い助産ケアを母子に届けるために、政策にどう反映させていくか？
その獲得方法と実践(政策提言の方法等)

助産実践能力習熟段階(クリニカルカラダ)レベルⅢ認証更新要件である「ウイメンズヘルスケア能力」に該当する講義です(CLOCMiP研修)

【お申込み&お問い合わせ】 締切：12月1日

- ①氏名、②ご所属、③パソコンのメールアドレス(資料送付含む)
④対面、もしくは、オンライン(Zoom) どちらの参加方法か？について
E-mail:gp1999@u-shizuoka-ken.jp までご連絡下さい。

静岡県立大学看護学部 母性・助産学領域